



●+□⇒☆▼○ パートナースhipがつくる地域の未来!

「モノづくりのわざ」から「環境のわざ」の実現 ～環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)～

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) は、中部地区の産業界の環境オピニオンリーダーが中心となって、2000年2月に発足された団体で、現在約300社(者)の会員により環境に関わる様々な活動を実施しております。

EPOCでは、環境負荷低減に向けて、各企業のトップが業種や規模の垣根を越えて、さらには市民・有識者・行政との連携を図りながら、『産・官・学・市民』が一体となった横断的な活動を行っていることを特長としています。

中部圏から環境対応に関するさまざまな情報を発信し、世界に誇れる環境先進地の形成と安全かつ快適な「循環型経済社会」の構築を目指します。そのために以下の4つの視点からの活動を展開しています。

- ▶ 環境行動の社会への浸透活動
- ▶ 環境マインドの溢れた社会風土づくり活動
- ▶ 環境行動に関する情報発信活動
- ▶ 環境行動に関する国際交流活動



2008 愛知環境賞受賞式



EPOC海外交流活動

2005年には「EPOC 2010年ビジョン」を策定し、「モノづくりのわざ」から「環境のわざ」の実現を担う活動も積極的に展開しております。

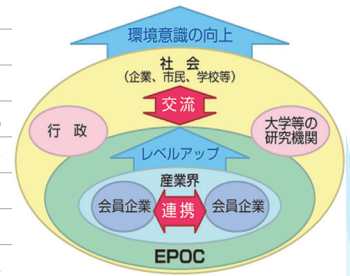
活動は、7つの分科会主体で実践しており、各分野で集った各企業の会員が一体となった取り組みを行っています。

2008年度は「低炭素化社会実現」をはじめ、各分科会で横断的な活動を積極的に展開しています。

また、会員全体を対象とした意見交換会やセミナーはもちろん、行政と協働でイベントを実施したり、学校や海外からの留学生との交流を行ったりと、環境を軸として幅広い活動を行っています。今後も、EPOC会員と一体となって地域の将来のため循環型経済社会の構築に向けてパートナーシップを展開いたします。

私たちの活動にご興味をお持ちでしたら、一度ホームページ(<http://www.epoc.gr.jp/>)を御覧ください。

●お問い合わせ EPOC総合事務局
(社団法人中部産業連盟) ☎052-931-3180



新所長ご挨拶



環境省中部地方環境事務所長

市原信男

7月半ばに地球環境戦略研究機関(IGES)から中部地方環境事務所長に着任した市原でございます。今後、当地方の発展に尽力いたしますので皆様方のご協力をお願い申し上げます。

さて、G8サミットが7月上旬に行われ、当日までの熱気がやや落ち着いてまいりましたが、これまでの過程で特に気候変動問題に対する市民の関心は大いに高まりました。結果、我々地球人が今後どのように生きていくべきか、持続可能な社会を作るために如何にライフスタイルや企業活動等を変革すべきかの本質が見えてきました。

そのような本質を考えるキッカケとなる次の大きなイベントは、2010年秋に愛知県名古屋市で開催される生物多様性条約第10回締約国会議(COP10/CBD)です。

生物多様性のテーマは遺伝子レベルから生態系レベルまで幅の広い内容で、すべての市民や企業に何らかの接点があります。自然を大切にすることだけでなく、政策側の意図としては気候変動の場合と同様、表面的な事象を超えて、我々地球人の現在と将来の生き方をどうするのかといった本質的なところを考える機会としていきたいのです。

会議そのものは国際的な場でもあり、会期中は国やセクター間の利害関係の交渉にほとんどの時間がとられるのが通常で、会期の2週間余の時間はあっという間に過ぎてしまいます。

したがって、少なくとも日本やこの中部地方において、どのような環境を残し、あるいは作り育てていくのかを、皆が連携・協働して、本質を見失わない具体的な議論をこれからすぐ始めていくことが必要です。

各地・各主体での自主的・主体的な活動も期待しておりますので、その実施の際には、当事務所へ是非ご一報をお願いします。我々所員一同、皆さんと一緒になって持続可能な社会の全体像を描き、その実現に向かっていくことを念願しています。